

大学番号：私102

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

届出

東京農業大学 農学部 生物資源開発学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シミズ マサキ  
清水 正樹

電話番号 03-5477-2650

（夜間） 同上

F A X 03-5477-2804

e-mail kaikaku@nodai.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 農学部

＜生物資源開発学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人東京農業大学

## (2) 大学名

東京農業大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒243-0034  
神奈川県厚木市船子1737  
(〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 (平成23年7月)		
学長	(タカノ カツミ) 高野 克己 (平成25年7月)		
学部長	(オガワ ヒロシ) 小川 博 (平成28年4月)		
学科長	(コジマ ヒロアキ) 小島 弘昭 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学部 生物資源開発学科 学士（農学）	農学関係	4年	125人	— 年次人	500人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	125人 [ - ]	—人 [ - ]	125人 [ - ]	—人 [ - ]	1.06 倍	一倍	
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	2,204 [ 4 ]	— [ - ]	1,938 [ 2 ]	— [ - ]			
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	2,157 [ 4 ]	— [ - ]	1,877 [ 1 ]	— [ - ]			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	563 [ 2 ]	— [ - ]	556 [ 0 ]	— [ - ]			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	130 [ 2 ]	— [ - ]	136 [ 0 ]	— [ - ]			
入学定員超過率 B/A							1.04		1.08				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	130 [ 2 ] (—)	— [—] (—)	138 [—] (2)	— [—] (—)	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	— [—] (—)	— [—] (—)	124 [ 1 ] (—)	— [—] (—)	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次	/		/		/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	130 [ 2 ] ( — )	— [—] (—)	262 [ 1 ] ( 3 )	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	130 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	262 人	4 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	4 人	1 人	[学生個人の心身に関する理由(1人)]、除籍(1人)、その他(2人)
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		4 人		4 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{—}} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{—}} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{—}} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{130} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{262} = \boxed{1.52} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<農学部 生物資源開発学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			6	4		2			
		共通演習	1後	1			6	4		2			
		情報基礎(一)	1前	2									1
		情報基礎(二)	1後	2									1
	関連科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1								2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1								2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2								1
		特別講義(二)	1前		2								1
		特別講義(三)	1前		2								1
		特別講義(四)	1前		2								1
		国際スタディーズ(一)**	1前		2								12
	国際スタディーズ(二)	1後		2								12	
	準備就職科目	キャリアデザイン	2前		1								1
		ビジネスマナー	2前		1								1
		インターンシップ	3後		1		1						
	リメデリアル教育科目	基礎生物	1前			2							1
		基礎化学	1前			2							1
		基礎数学	1前			2							1
		文章表現	1前			2							1
小計(19科目)	—	7	17	8	6	4	0	2	0	0	22		
外国語科目	基礎英語科目	英語(一)	1前	2									13
		英語(二)	1後	2									13
		英語(三)	2前	2									13
		英語(四)	2後	2									13
	実用英語科目	英語リーディング(一)	1前		2								3
		英語リーディング(二)	1後		2								3
		英会話(一)	2前		2								1
		英会話(二)	2後		2								1
		TOEIC英語(一)	2前		2								3
		TOEIC英語(二)	2後		2								3
	実用英語科目	英語プレゼンテーション(一)	3前		2								1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2								1
		科学英語(一)	3後		2								1
		科学英語(二)	4前		2								1
	初修外国語科目	中国語(一)	2前		2								2
		中国語(二)	2後		2								2
		スペイン語(一)	2前		2								1
		スペイン語(二)	2後		2								1
小計(18科目)	—	8	28	0	0	0	0	0	0	0	18		
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2								1
		芸術	2前		2								1
		生命倫理	2後		2								1
		文化人類学	2後		2								1
	社会関係科目	経済入門	2前		2								1
		国際関係を考える	2前		2								1
		日本国憲法	2後		2								1
		現代社会の諸問題	2後		2								1
	自然関係科目	生物学	1後		2								1
		化学	1後		2								1
		数学	1後		2								1
		物理学	1後		2								1
		地学	2前		2								1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	10		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			7	3		2		
		共通演習	1後	1			7	3		2		
		情報基礎(一)	1前	2								1
		情報基礎(二)	1後	2								1
	関連科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2							1
		特別講義(二)	1前		2							1
		特別講義(三)	1前		2							1
		特別講義(四)	1前		2							1
		国際スタディーズ(一)**	1前		2							12
	国際スタディーズ(二)	1後		2							12	
	準備就職科目	キャリアデザイン	2前		1							1
		ビジネスマナー	2前		1							1
		インターンシップ	3後		1		1					
	リメデリアル教育科目	基礎生物	1前			2						1
		基礎化学	1前			2						1
		基礎数学	1前			2						1
		文章表現	1前			2						1
小計(19科目)	—	7	17	8	7	3	0	2	0	0	23	
外国語科目	基礎英語科目	英語(一)	1前	2								7
		英語(二)	1後	2								7
		英語(三)	2前	2								8
		英語(四)	2後	2								8
	実用英語科目	英語リーディング(一)	1前		2							2
		英語リーディング(二)	1後		2							2
		英会話(一)	2前		2							2
		英会話(二)	2後		2							2
		TOEIC英語(一)	2前		2							2
		TOEIC英語(二)	2後		2							2
	実用英語科目	英語プレゼンテーション(一)	3前		2							1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2							1
		科学英語(一)	3後		2							1
		科学英語(二)	4前		2							1
	初修外国語科目	中国語(一)	2前		2							4
		中国語(二)	2後		2							4
		スペイン語(一)	2前		2							2
		スペイン語(二)	2後		2							2
小計(18科目)	—	8	28	0	0	0	0	0	0	0	21	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2							1
		芸術	2前		2							1
		生命倫理	2後		2							1
		文化人類学	2後		2							1
	社会関係科目	経済入門	2前		2							1
		国際関係を考える	2前		2							1
		日本国憲法	2後		2							1
		現代社会の諸問題	2後		2							1
	自然関係科目	生物学	1後		2							1
		化学	1後		2							1
		数学	1後		2							1
		物理学	1後		2							1
		地学	2前		2							1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門共通科目	農学原論※	1前	2			1					3	
	農業実習(一)※	1前	3			6	4		2			
	基礎演習	1前	1			6	4		2			
	農業実習(二)※	1後	3			6	4		2			
	心理学概論	1後		2							1	
	生化学	2後		2							1	
	環境科学	3前		2							1	
	知的財産論	3前		2							1	
	動植物園論	3後		2							1	
	創生型	農業インターンシップ(一)	1前		2							1
創生型	農業インターンシップ(二)	1後		2							1	
小計(11科目)			—	9	14	0	6	4	0	2	0	9
専門基礎科目	生物資源保全学(一)※	1前	2			3	1		1			
	生物資源利用学(一)※	1後	2			4	1					
	土壌学	1前		2							1	
	植物病理学※	1後		2							3	
	生物資源保全学(二)※	2前	2			1	1					
	植物多様性学※	2前	2			1	2					
	野生動物学※	2前	2			3						
	昆虫学※	2前	2			2	1					
	薬用資源学※	2前	2			1			1			
	遺伝資源利用学※	2前	2			2			1			
	生物学実験	2前	2			9	4		2			
	生物資源利用学(二)※	2後	2			2			1			
	化学実験	2後		2		9	4		2			
小計(13科目)			—	20	6	0	9	4	0	2	0	4
専門教育科目	植物育成管理学	2後		2			1					
	野生動物生態学	2後		2		1						
	機器分析学※	3前		2		1			1			
	生命工学※	3前		2		2			1			
	生物多様性と分類※	3後		2		2	1					
	植物育種学	4前		2		1						
	生物情報利用学※	4前		2			1		1			
小計(7科目)			—	0	14	0	7	2	0	2	0	0
学際領域科目	動物管理学※	1後		2		1					3	
	自然環境保全論	2前		2							1	
	農業気象学	2前		2							1	
	植物栄養学	2前		2							1	
	動物解剖学※	2前		2							4	
	植物生理生態学	2後		2							1	
	農業経営学	3前		2							1	
	生命科学	3前		2							1	
	自然再生技術論	3前		2							1	
	農業と生物多様性管理※	3後		2		2	2					
	進化生物学※	3後		2		1	1					
	植物昆虫関係学※	3後		2		2	2					
	植物生長調節論	3後		2							1	
	分子生物学※	3後		2		1	1		1		2	
	農産物マーケティング論	3後		2							1	
	植物防疫論	3後		2							1	
	里山学※	4前		2		2	1					
小計(17科目)			—	0	34	0	5	4	0	1	0	18
総合化科目	分野別実験(一)	3前		2		10	4		2			
	分野別実験(二)	3後		2		10	4		2			
	分野別演習(一)	3前		4		10	4		2			
	分野別演習(二)	3後		4		10	4		2			
	分野別演習(三)	4前		4		10	4		2			
	分野別演習(四)	4後		4		10	4		2			
	卒業論文	4通		4		10	4		2			
小計(7科目)			—	24	0	0	10	4	0	2	0	0
合計(105科目)			—	68	139	8	10	4	0	2	0	78

卒業要件及び履修方法

必修科目68単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目44単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門共通科目	農学原論※	1前	2			1					3	
	農業実習(一)※	1前	3			7	3			2		
	基礎演習	1前	1			7	3			2		
	農業実習(二)※	1後	3			7	3			2		
	心理学概論	1後		2							1	
	生化学	2後		2							1	
	環境科学	3前		2							1	
	知的財産論	3前		2							1	
	動植物園論	3後		2							1	
	創生型	農業インターンシップ(一)	1前		2							1
創生型	農業インターンシップ(二)	1後		2							1	
小計(11科目)			—	9	14	0	7	3	0	2	0	9
専門基礎科目	生物資源保全学(一)※	1前	2			4	0			1		
	生物資源利用学(一)※	1後	2			4	1					
	土壌学	1前		2							1	
	植物病理学※	1後		2							3	
	生物資源保全学(二)※	2前	2			1	1					
	植物多様性学※	2前	2			1	2					
	野生動物学※	2前	2			3						
	昆虫学※	2前	2			3	0					
	薬用資源学※	2前	2			1			1			
	遺伝資源利用学※	2前	2			2			1			
	生物学実験	2前	2			10	3			2		
	生物資源利用学(二)※	2後	2			2			1			
	化学実験	2後		2		10	3		2			
小計(13科目)			—	20	6	0	10	3	0	2	0	4
専門教育科目	植物育成管理学	2後		2			1					
	野生動物生態学	2後		2		1						
	機器分析学※	3前		2		1			1			
	生命工学※	3前		2		2			1			
	生物多様性と分類※	3後		2		3	0					
	植物育種学	4前		2		1						
	生物情報利用学※	4前		2			1		1			
小計(7科目)			—	0	14	0	8	1	0	2	0	0
学際領域科目	動物管理学※	1後		2		1					3	
	自然環境保全論	2前		2							1	
	農業気象学	2前		2							1	
	植物栄養学	2前		2							1	
	動物解剖学※	2前		2							4	
	植物生理生態学	2後		2							1	
	農業経営学	3前		2							1	
	生命科学	3前		2							1	
	自然再生技術論	3前		2							1	
	農業と生物多様性管理※	3後		2		2	2					
	進化生物学※	3後		2		1	1					
	植物昆虫関係学※	3後		2		3	1					
	植物生長調節論	3後		2							1	
	分子生物学※	3後		2		1	1		1		2	
	農産物マーケティング論	3後		2							1	
	植物防疫論	3後		2							1	
	里山学※	4前		2		2	1					
小計(17科目)			—	0	34	0	6	3	0	1	0	18
総合化科目	分野別実験(一)	3前		2		11	3			2		
	分野別実験(二)	3後		2		11	3			2		
	分野別演習(一)	3前		4		11	3			2		
	分野別演習(二)	3後		4		11	3			2		
	分野別演習(三)	4前		4		11	3			2		
	分野別演習(四)	4後		4		11	3			2		
	卒業論文	4通		4		11	3			2		
小計(7科目)			—	24	0	0	11	3	0	2	0	0
合計(105科目)			—	68	139	8	11	3	0	2	0	82

卒業要件及び履修方法

必修科目68単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目44単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))



【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			6	4		2		
		共通演習	1後	1			6	4		2		
		情報基礎(一)	1前	2								1
		情報基礎(二)	1後	2								1
	関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2							1
		特別講義(二)	1前		2							1
		特別講義(三)	1前		2							1
		特別講義(四)	1前		2							1
		国際スタディーズ(一)※	1前		2							12
	準備科目	キャリアデザイン	2前		1							1
		ビジネスマナー	2前		1							1
	リメディアル教育科目	インターンシップ	3後		1		1					
		基礎生物	1前			2						1
		基礎化学	1前			2						1
		基礎数学	1前			2						1
		文章表現	1前			2						1
		小計(19科目)	—	7	17	8	6	4	0	2	0	23
外国語科目	基盤英語科目	英語(一)	1前	2								8
		英語(二)	1後	2								8
		英語(三)	2前	2								8
		英語(四)	2後	2								7
	実用英語科目	英語リーディング(一)	1前		2							3
		英語リーディング(二)	1後		2							3
		英会話(一)	2前		2							3
		英会話(二)	2後		2							2
		TOEIC英語(一)	2前		2							4
		TOEIC英語(二)	2後		2							4
	実用英語科目	英語プレゼンテーション(一)	3前		2							1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2							1
		科学英語(一)	3後		2							1
		科学英語(二)	4前		2							1
	初修外国語科目	中国語(一)	2前		2							3
		中国語(二)	2後		2							3
		スペイン語(一)	2前		2							2
		スペイン語(二)	2後		2							2
	小計(18科目)	—	8	28	0	0	0	0	0	0	25	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2							1
		芸術	2前		2							1
		生命倫理	2後		2							1
		文化人類学	2後		2							1
	社会関係科目	経済入門	2前		2							1
		国際関係を考える	2前		2							1
		日本国憲法	2後		2							1
		現代社会の諸問題	2後		2							1
	自然関係科目	生物学	1後		2							1
		化学	1後		2							1
		数学	1後		2							1
		物理学	1後		2							1
		地学	2前		2							1
	小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	10	
専門共通科目	農学原論※	1前	2			1					3	
	農業実習(一)※	1前	3			6	4		2			
	基礎演習	1前	1			6	4		2			
	農業実習(二)※	1後	3			6	4		2			
	心理学概論	1後		2							1	
	生化学	2後		2							1	
	環境科学	3前		2							1	
	知的財産論	3前		2							1	
	動植物園論	3後		2							1	
	創生型科目	農業インターンシップ(一)	1前		2							1
農業インターンシップ(二)		1後		2							1	
	小計(11科目)	—	9	14	0	6	4	0	2	0	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	生物資源保全学(一)※	1前	2			3	1		1			
	生物資源利用学(一)※	1後	2			4	1					1
	土壌学	1前		2								
	植物病理学※	1後		2								3
	生物資源保全学(二)※	2前	2			1	1					
	植物多様性学※	2前	2			1	2					
	野生動物学※	2前	2			3						
	昆虫学※	2前	2			2	1					
	薬用資源学※	2前	2			1			1			
	遺伝資源利用学※	2前	2			2			1			
	生物学実験	2前	2			9	4		2			
	生物資源利用学(二)※	2後	2			2			1			
	化学実験	2後		2		9	4		2			
小計(13科目)	—	—	20	6	0	9	4	0	2	0	4	
専門コア科目	植物育成管理学	2後		2			1					
	野生動物生態学	2後		2		1						
	機器分析学※	3前		2		1			1			
	生命工学※	3前		2		2			1			
	生物多様性と分類※	3後		2		2	1					
	植物育種学	4前		2		1						
	生物情報利用学※	4前		2			1		1			
小計(7科目)	—	0	14	0	7	2	0	2	0	0		
専門教育科目	動物管理学※	1後		2		1						3
	自然環境保全論	2前		2								1
	農業気象学	2前		2								1
	植物栄養学	2前		2								1
	動物解剖学※	2前		2								4
	植物生理生態学	2後		2								1
	農業経営学	3前		2								1
	生命科学	3前		2								1
	自然再生技術論	3前		2								1
	農業と生物多様性管理※	3後		2		2	2					
	進化生物学※	3後		2		1	1					
	植物昆虫関係学※	3後		2		2	2					
	植物生長調節論	3後		2								1
	分子生物学※	3後		2		1	1		1			2
	農産物マーケティング論	3後		2								1
	植物防疫論	3後		2								1
	里山学※	4前		2		2	1					
小計(17科目)	—	0	34	0	5	4	0	1	0	0	18	
総合化科目	分野別実験(一)	3前	2			10	4		2			
	分野別実験(二)	3後	2			10	4		2			
	分野別演習(一)	3前	4			10	4		2			
	分野別演習(二)	3後	4			10	4		2			
	分野別演習(三)	4前	4			10	4		2			
	分野別演習(四)	4後	4			10	4		2			
	卒業論文	4通	4			10	4		2			
小計(7科目)	—	24	0	0	10	4	0	2	0	0	0	
合計(105科目)	—	68	139	8	10	4	0	2	0	0	83	

卒業要件及び履修方法

必修科目68単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目44単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

- ・ 時間割調整のため、「英語（一）」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「英語（二）」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「英語（三）」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「英語（四）」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼7」に変更。
- ・ クラス数増加により、「英会話（一）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・ クラス数増加により、「英会話（二）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ クラス数増加により、「TOEIC英語（一）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ クラス数増加により、「TOEIC英語（二）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ クラス数増加により、「中国語（一）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・ クラス数増加により、「中国語（二）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・ クラス数増加により、「スペイン語（一）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ クラス数増加により、「スペイン語（二）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。

**【令和元年度】**

- ・ 時間割編成のため、「インターナショナルズ（一）」に専任教員等の配置を「教授1」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「英語（一）」「英語（二）」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼7」に変更。
- ・ クラス数増加により、「英語（四）」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼8」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「英語リーディング（一）」「英語リーディング（二）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「英会話（一）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・ 時間割調整のため、「TOEIC英語（一）」「TOEIC英語（二）」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・ クラス数増加により、「中国語（一）」「中国語（二）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ 石川 忠専任准教授が専任教員昇格のため、専任教員等の配置を変更。
- ・ 「フレッシュマンセミナー」「共通演習」「農業実習（一）」「基礎演習」「農業実習（二）」／「教授6」から「教授7」、「准教授4」から「准教授3」
- ・ 「生物資源保全学（一）」／「教授3」から「教授4」、「准教授1」から「准教授0」
- ・ 「昆虫学」「生物多様性と分類」／「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」
- ・ 「生物学実験」「化学実験」／「教授9」から「教授10」、「准教授4」から「准教授3」
- ・ 「生物情報利用学」／「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」
- ・ 「植物昆虫関係学」／「教授2」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」
- ・ 「分野別実験（一）」「分野別実験（二）」「分野別演習（一）」「分野別演習（二）」「分野別演習（三）」「分野別演習（四）」／「教授10」から「教授11」、「准教授4」から「准教授3」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	72 科目	4 科目	105 科目	— 科目 [ — ]	— 科目 [ — ]	— 科目 [ — ]	— 科目 [ — ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{105} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東京農業大学第一高等学校 (収容定員1,050人、面積基準 運動場8,400㎡)、中等部 (収容定員450人、面積基準 運動場4,950㎡)と共用 借入面積：3,570.24㎡ 借入期間：60年 登記簿上錯誤による面積変更が判明したため(元)			
	校舎敷地	354,079.78㎡	0㎡	15,350.76㎡	369,430.54㎡				
	運動場用地	31,147.98㎡	30,935.81㎡	6,453.99㎡	68,537.78㎡				
	小 計	385,227.76㎡	30,935.81㎡	21,804.75㎡	437,968.32㎡				
	そ の 他	2,664,609.34㎡ <del>2,664,688.34㎡</del>	0㎡	0㎡	2,664,609.34㎡ <del>2,664,688.34㎡</del>				
	合 計	3,049,837.10㎡ <del>3,049,916.10㎡</del>	30,935.81㎡	21,804.75㎡	3,049,837.10㎡ <del>3,102,656.66㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	238,911.51㎡ <del>238,894.66㎡</del>	0㎡	0㎡	238,911.51㎡ <del>238,894.66㎡</del>	大学全体 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(元) 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(30)			
		192,787.86㎡ 190,373.85㎡ <del>(190,347.54㎡)</del>	0㎡	0㎡	192,787.86㎡ 190,373.85㎡ <del>(190,347.54㎡)</del>				
(3) 教 室 等	講 義 室	101室 <del>103室</del>	61室 <del>116室</del> 100室	649室 <del>867室</del> 691室	8室 (補助職員 2人)	大学全体 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(元) 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(30)			
	演 習 室				語学学習施設 1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			改組等による用途変更のため(30)			
	農学部 生物資源開発学科		14 5 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	和図書：新規購入による増(元) 洋図書：除籍による減(元) 学術雑誌：契約変更による増(元) 視聴覚：新規購入による増(元) 機械・器具：新規購入による増加(元) 標本：新規購入による増加(元) 図書：除籍による減(30) 学術雑誌：契約変更による減(30) 視聴覚：新規購入による増(30) ○機械・器具：新規購入を上回る除却(30) ○大学所蔵図書 (大学全体での共用分 290,287〔31,353〕) ○学術雑誌,電子ジャーナル (全キャンパス) ○標本 学部単位での特定不能なため、大学全体の数	
	農学部 生物資源開発学科	249,039〔44,146〕 (232,836〔42,158〕) <del>(229,876〔42,186〕)</del> <del>(230,765〔41,778〕)</del>	11,480〔7,152〕 (18,514〔10,758〕) <del>(10,183〔6,354〕)</del> <del>(11,480〔7,152〕)</del>	7,264〔6,505〕 (8,768〔8,583〕) <del>(5,830〔5,688〕)</del> <del>(7,264〔6,505〕)</del>	7,603 <del>7,482</del> (7,603) <del>(7,482)</del> <del>(7,364)</del>	441 <del>(459)</del> <del>(402)</del> <del>(441)</del>	33,777 <del>(33,778)</del> <del>(33,778)</del> <del>(33,777)</del>		
	計	249,039〔44,146〕 (232,836〔42,158〕) <del>(229,876〔42,186〕)</del> <del>(230,765〔41,778〕)</del>	11,480〔7,152〕 (18,514〔10,758〕) <del>(10,183〔6,354〕)</del> <del>(11,480〔7,152〕)</del>	7,264〔6,505〕 (8,768〔8,583〕) <del>(5,830〔5,688〕)</del> <del>(7,264〔6,505〕)</del>	7,603 <del>7,482</del> (7,603) <del>(7,482)</del> <del>(7,364)</del>	441 <del>(459)</del> <del>(402)</del> <del>(441)</del>	33,777 <del>(33,778)</del> <del>(33,778)</del> <del>(33,777)</del>		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	8,026.19㎡		1,383		1,162,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体 既存施設の用途変更のため(元)	
	10,371.27㎡		野 球 場 2 面 テ ニ ス コ ー ト 6 冊						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設前年度については平成29年度決算を受けて実績に変更(元) 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費及び雑誌資料費を含む。
		教員1人当り研究費等	331千円	337千円	図書購入費	0千円	2,091千円	8,122千円	
	共同研究費等	7,684千円	8,339千円	設備購入費	9,737千円 <del>21,936千円</del>	21,030千円	18,573千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,485.6千円	第2年次 1,285.6千円	第3年次 1,345.6千円	第4年次 1,415.6千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金収入、寄付金収入、手数料収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京農業大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	年度
農学部	4	558	—	2,438	—	1.08	—	—	—	—
農学科	4	170	—	796	学士 (農学)	1.09	—	昭和24	神奈川県厚木市 船子1737	H30入学定員変更 (△50) H31編入定員変更 (△16)
動物科学科	4	140	—	650	学士 (農学)	1.07	—	昭和24	同上	H30入学定員変更 (△40) H31編入定員変更 (△10)
生物資源開発学科	4	125	—	500	学士 (農学)	1.06	—	平成30	同上	
デザイン農学科	4	123	—	492	学士 (農学)	1.04	—	平成30	同上	
バイオセラピー学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	—	平成18	同上	平成30年学生募集停止
応用生物科学部	4	570	—	2,264	—	1.07	—	—	—	—
農芸化学科	4	150	—	590	学士 (応用生 物科学)	1.08	平成30	平成10	東京都世田谷区 桜丘1-1-1	入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△10)
醸造科学科	4	150	—	600	学士 (応用生 物科学)	1.08	平成30	平成10	同上	入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△20)
食品安全健康学科	4	150	—	590	学士 (応用生 物科学)	1.07	平成30	平成26	同上	入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△10)
栄養科学科	4	120	—	484	学士 (応用生 物科学)	1.03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更 (△4)
バイオサイエンス学科	4	—	—	—	学士 (応用生 物科学)	—	—	平成10	同上	平成29年学生募集停止
生命科学部	4	410	—	1,560	—	1.05	—	—	—	—
バイオサイエンス学科	4	150	—	580	学士 (農学)	1.06	平成30	平成29	東京都世田谷区 桜丘1-1-1	入学定員変更 (10)
分子生命化学科	4	130	—	490	学士 (農学)	1.04	平成30	平成29	同上	入学定員変更 (15)
分子微生物学科	4	130	—	490	学士 (農学)	1.07	平成30	平成29	同上	入学定員変更 (15)
地域環境科学部	4	490	—	1,949	—	1.07	—	—	—	—
森林総合科学科	4	130	—	526	学士 (地域環 境科学)	1.07	平成30	平成10	東京都世田谷区 桜丘1-1-1	H29入学定員変更 (△20) 入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△6)
生産環境工学科	4	130	—	523	学士 (地域環 境科学)	1.05	平成30	平成10	同上	H29入学定員変更 (△20) 入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△3)
造園科学科	4	130	—	540	学士 (地域環 境科学)	1.07	平成30	平成10	同上	H29入学定員変更 (△20) 入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△20)
地域創成科学科	4	100	—	360	学士 (農学)	1.06	平成30	平成29	同上	入学定員変更 (20)
国際食料情報学部	4	600	—	2,415	—	1.07	—	—	—	—
国際農業開発学科	4	150	—	590	学士 (国際食 料情報学)	1.07	平成30	平成10	東京都世田谷区 桜丘1-1-1	入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△10)
食料環境経済学科	4	190	—	790	学士 (国際食 料情報学)	1.08	平成30	平成10	同上	H29入学定員変更 (△40) 入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△10)
国際バイオビジネス学科	4	150	—	615	学士 (国際食 料情報学)	1.07	平成30	平成10	同上	H29入学定員変更 (△30) 入学定員変更 (10) H31編入定員変更 (△5)
国際食農科学科	4	110	—	420	学士 (農学)	1.06	平成30	平成29	同上	入学定員変更 (10)
生物産業学部	4	350	3年次 27	1,454	—	1.09	—	—	—	—
北方圏農学科	4	100	3年次 10	420	学士 (農学)	1.08	—	平成1	北海道網走市八 坂196	
海洋水産学科	4	80	—	320	学士 (農学)	1.10	—	平成18	同上	
食香粧化学科	4	80	3年次 12	344	学士 (農学)	1.08	—	平成1	同上	
自然資源経営学科	4	90	3年次 5	370	学士 (経営学)	1.10	—	平成1	同上	
大学全体	—	2,978	3年次 27	12,080	—	—	—	—	—	—

大学の名称		東京農業大学大学院							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
農学研究科										
博士前期課程	2	181	—	362	—	1.00	—	—	—	
農学専攻	2	14	—	28	修士(農学)	1.03	—	昭和28	神奈川県厚木市船子1737	
畜産学専攻	2	12	—	24	修士(畜産学)	1.20	—	昭和61	同上	
バイオセラピー学専攻	2	10	—	20	修士(バイオセラピー学)	1.00	—	平成22	同上	
バイオサイエンス専攻	2	30	—	60	修士(バイオサイエンス)	1.28	—	平成14	東京都世田谷区桜丘1-1-1	
農芸化学専攻	2	25	—	50	修士(農芸化学)	0.98	—	昭和32	同上	
醸造学専攻	2	12	—	24	修士(醸造学)	2.24	—	平成2	同上	
食品栄養学専攻	2	12	—	24	修士(食品栄養学)	0.20	—	昭和61	同上	
林学専攻	2	12	—	24	修士(林学)	0.70	—	昭和61	同上	
農業工学専攻	2	8	—	16	修士(農業工学)	0.87	—	平成2	同上	
造園学専攻	2	12	—	24	修士(造園学)	0.62	—	平成2	同上	
国際農業開発学専攻	2	12	—	24	修士(国際農業開発学)	1.62	—	平成2	同上	
農業経済学専攻	2	10	—	20	修士(農業経済学)	0.45	—	昭和28	同上	
国際バイオビジネス学専攻	2	12	—	24	修士(国際バイオビジネス学)	0.49	—	平成14	同上	
修士課程	2	20	—	40	—	0.87	—	—	—	
食品安全健康学専攻	2	20	—	40	修士(食品安全健康学)	0.87	—	平成30	東京都世田谷区桜丘1-1-1	
博士後期課程	3	53	—	159	—	0.64	—	—	—	
農学専攻	3	5	—	15	博士(農学)	0.33	—	昭和37	神奈川県厚木市船子1737	
畜産学専攻	3	4	—	12	博士(畜産学)	0.41	—	平成2	同上	
バイオセラピー学専攻	3	3	—	9	博士(バイオセラピー学)	0.44	—	平成24	同上	
バイオサイエンス専攻	3	6	—	18	博士(バイオサイエンス)	0.66	—	平成16	東京都世田谷区桜丘1-1-1	
農芸化学専攻	3	5	—	15	博士(農芸化学)	0.33	—	昭和34	同上	
醸造学専攻	3	2	—	6	博士(醸造学)	1.66	—	平成14	同上	
食品栄養学専攻	3	2	—	6	博士(食品栄養学)	1.33	—	平成14	同上	
林学専攻	3	4	—	12	博士(林学)	0.25	—	平成2	同上	
農業工学専攻	3	2	—	6	博士(農業工学)	1.16	—	平成14	同上	
造園学専攻	3	3	—	9	博士(造園学)	0.55	—	平成14	同上	
国際農業開発学専攻	3	2	—	6	博士(国際農業開発学)	2.50	—	平成14	同上	
農業経済学専攻	3	5	—	15	博士(農業経済学)	0.46	—	昭和37	同上	
国際バイオビジネス学専攻	3	5	—	15	博士(国際バイオビジネス学)	0.33	—	平成16	同上	
環境共生学専攻	3	5	—	15	博士(環境共生学)	0.80	—	平成2	同上	
生物産業学研究科										
博士前期課程	2	20	—	40	—	1.02	—	—	—	
生物生産学専攻	2	7	—	14	修士(生物産業学)	0.57	—	平成22	北海道網走市八坂196	
アクアバイオ学専攻	2	5	—	10	修士(生物産業学)	0.90	—	平成22	同上	
食品香粧学専攻	2	5	—	10	修士(生物産業学)	2.10	—	平成22	同上	
産業経営学専攻	2	3	—	6	修士(生物産業学)	0.49	—	平成22	同上	
博士後期課程	3	8	—	24	—	0.58	—	—	—	
生物産業学専攻	3	8	—	24	博士(生物産業学)又は(経営学)	0.58	—	平成7	同上	
大学院全体	—	282	—	625	—	—	—	—	—	

大学の名称		東京情報大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
総合情報学部	4	400	3年次10	1,720	—	1.09	—	—	—	千葉県千葉市若葉区御成台4-1 H29定員変更(Δ100)
総合情報学科	4	400	3年次10	1,720	学士(総合情報学)	1.09	—	平成25	—	
看護学部	4	100	—	400	—	0.93	—	—	—	
看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	0.93	—	平成29	同上	
大学全体	4	500	3年次10	2,120	—	—	—	—	—	
大学の名称		東京情報大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
総合情報学研究科 博士前期課程	2	15	—	30	—	0.30	—	—	—	千葉県千葉市若葉区御成台4-1
総合情報学専攻	2	15	—	30	修士(総合情報学)	0.30	—	平成4	—	
博士後期課程	3	3	—	9	—	0.44	—	—	—	同上
総合情報学専攻	3	3	—	9	博士(総合情報学)	0.44	—	平成11	—	
大学院全体	—	18	—	39	—	—	—	—	—	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (平成29年7月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <農学部 生物資源開発学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

全学的な組織として、全学審議会の下に教学検討委員会を設置している。

※関係規程等 「東京農業大学学則（一部抜粋）（資料1）」「東京農業大学全学審議会規程（資料2）」

「全学審議会設置委員会（一部抜粋）（資料3）」「教学検討委員会運営要項（資料4）」

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度は、平成31年1月を除く毎月1回の計11回の委員会を開催した。

委員は、副学長（教学担当）、学部長、事務局長、学務部長、事務部長、大学改革推進室長の役職者を充てている。

###### c 委員会の審議事項等

- ・ 教学検討委員会活動計画に関する事項
- ・ FD活動に関する事項（シラバスの記載内容の変更、シラバスの第3者チェックの実施、オフィスアワーの設定、授業評価への取組み、授業評価結果活用、ナンバリング及びカリキュラムツリーの作成、教育改革推進プロジェクトへの対応、FDワーキンググループの取組み、FD推進ワークショップへの参加、学内FD活動の推進等）
- ・ 教学に関する事項（年間授業計画、特別講義、世田谷6大学コンソーシアム連携授業、他学部・他学科聴講、GPAの活用計画、学外オリエンテーション実施計画、アクティブラーニング（AL）科目の確認等）
- ・ 教学検討委員会活動報告に関する事項

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- ① 新任教員のための研修会の実施
- ② 自己教育評価の実施
- ③ 授業評価及び学修時間アンケート結果の活用（改善報告書の提出を含む）
- ④ 各学科内FD活動の実施（全教員の3/4以上の参加）
- ⑤ 任期制教員への面談、指導記録の作成
- ⑥ 学生対応セミナー・障がい学生支援対策研修会・自殺予防に関する研修会の実施
- ⑦ 外部評価会議の実施
- ⑧ 若手教員の学外FD研修への参加

###### b 実施方法

- ① 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、教員としての心得・建学の精神、ハラスメント防止等について説明を行った。更に、学部学科単位で独自の研修やフォローアップを行っている。
- ② 専任教員全員を対象に、毎年、教育研究活動に関する自己教育評価アンケートを実施している。  
平成30年度からは、設問を一部見直し、76項目（自由記述を含む）とするともにWEBによる回答形式を導入した。  
また、結果を所属毎・職階毎に集計し、平均点や得点分布等を所属長及び本人にフィードバックしている。
- ③ 全学生を対象として前・後学期に各1回「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、実施結果を学生及び教員にフィードバックするとともに、授業評価結果が一定基準に満たない場合は改善報告書の提出を求めている。  
平成30年度からは、設問を一部見直し、21項目（教科単位の個別設問及び自由記述を含む）とするともに学修成果の可視化の観点から、回答には学籍番号を記載させるよう改めた。
- ④ 各学科の学科会議の時間を借用して、本学のFD活動の説明会を学部長が実施した。
- ⑤ 任期制教員への面談及び指導記録の作成を各学部長を中心に各学科で年度末に行っている。
- ⑥ 教職員を対象とし、学生対応セミナー・障がい学生支援対策研修会・自殺予防に関する研修会を実施した。
- ⑦ 教育研究活動の内部質保証の取組みとして、中等教育学校関係者及び民間企業採用担当者の方々に評価委員をお願いし、本学の教育研究活動について意見を伺う機会とする外部評価会議を大学院教学検討委員会と合同で2回実施した。
- ⑧ 日本私立大学連盟主催の新任専任教員向けのFD推進ワークショップ（8月）に若手教員6名を参加させた。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ① 平成30年度は、全体研修を4月11日に実施した。新任の専任教員のほぼ全員が参加した。
- ② 平成30年度は、平成31年2月に実施した。専任教員のほぼ全員が回答した。
- ③ 平成30年前学期は、7月に「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、結果を9月に授業担当者及び学生に公開した。後学期は、平成31年1月に「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、結果を3月に授業担当者及び学生に公開した。評価結果が一定基準に満たない授業担当者については、改善計画書の提出を求めた。
- ④ 平成30年度は、6月から7月にかけて実施し、全専任教員の3/4以上の参加を得ることができた。
- ⑤ 平成30年度は、平成31年2月に任期制教員全員について実施した。
- ⑥ 平成30年度は、学生対応セミナーを7月27日に実施し、101名の参加があった。また、障がい学生支援対策研修会を12月7日に実施し、136名の参加があった。「自殺の予防とポストベンション」をテーマとした研修会を平成31年3月13日に実施し、84名の参加があった。
- ⑦ 中等教育学校の校長、教頭をはじめとした5校11名の評価委員による外部評価会議を9月7日に実施した。また、民間企業採用担当者6社9名の評価委員による外部評価会議を10月26日に実施した。
- ⑧ 平成30年度FD推進ワークショップは、8月に1泊2日で開催され、本学からは6名が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ① 新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長である研究室での教育研究活動の活性化につながっている。また、ハラスメント防止対策の理解を深化させることができた。
- ② 大学全体平均・学部平均との比較により、自身の教育・研究活動の振り返りと改善への意識付けにつながっており、シラバス記載内容の充実等、FD活動への理解促進の一策として効果が上がっている。
- ③ 授業評価結果の活用として、基準を下回った授業担当者全員から、改善計画等報告書を提出させている。
- ④ 本学のFD活動の実態について理解を深めることができた。
- ⑤ 任期制教員の教育及び研究の状況を確認し、設定目標に対する指導・アドバイスを行った。
- ⑥ 学生対応セミナーにより、授業の進め方や学生相談の際の気遣いについて理解を深めた。障がい学生支援対策研修会では、障がいのある学生に対する授業の進め方や接し方について理解を深めた。自殺予防に関する研修会では、自殺に至る心理状態と予防対策及び発生した場合の事後対応について理解を深めた。
- ⑦ 外部評価委員から非常に参考になるご意見を頂戴した。次年度のFD活動計画に改善事項として盛り込む予定である。
- ⑧ ワークショップの経験や他大学の取り組みの情報を活かし、授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に行っている。（平成27年度からWEBによる授業評価からマークシートによる授業評価に変更した。）

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、集計結果を一覧表にしてメールで配信している。評価結果が一定基準に達していない場合は、授業改善計画等報告書の提出を依頼し、文書で回収している。

学生に対しては、集計結果を学科、学年等カテゴリーごとに集計し、学生ポータルで公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は農学の基盤となる生物多様性について理解し、その解明と保全ならびに多様な生物資源の探索から持続的利活用や開発を通じ、未来に安心して託せる環境の保全と持続可能な農業・社会づくりに貢献することを目的としている。そのため、特定の農用動植物や生物資源にとらわれることなく、農業生態系から自然生態系に至る植物、動物、昆虫などの生物に関する多面的教育研究が行えるよう、フィールドワークを重視するとともに、ゼミや講義科目、ラボラトリーワーク、情報科学的アプローチを併用し、これからの人間社会が必要とする生物多様性に配慮した持続可能な社会づくりに貢献できる幅広い知識と技術、実践力を修得できることが特色である。

開設2年目にあたる平成31年度入学試験（一般入試）では、合格倍率はA日程入試で3.7倍（平成30年度4.5倍）、B日程入試で7.9倍（平成30年度17.4倍）となり、本学科に対する高校生のニーズが高いことが確認することができた。新入生136名を迎え入れ、2年生124名とあわせ、262名（留年生含む）の学生に対して学科の目的に沿った教育研究を確実に実行し、社会から必要とされる人材を養成していく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年6月30日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和元年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度（令和元年度）に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 30日（予定） ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ — ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。